

令和5年度 指定管理施設検証結果報告書

PLAN	施設名	甲州市道の駅 甲斐大和			検証日	令和6年7月8日	
	所管課担当名	観光商工課 施設管理担当		課長名	廣瀬 仁	作成者名 小澤 龍司	
	指定管理者	名称	株式会社 エープレイス				
		代表者	代表取締役 手塚 公彦				
		所在地	山梨県甲州市大和町初鹿野1811番地				
		指定期間	令和3年(2021年)4月 ~ 令和6年(2024年)3月				
	管理施設の概要	施設所在地	山梨県甲州市大和町初鹿野2248番地				
		設置目的	地域産業の振興と市民の福祉の向上及び都市との交流を図ることを目的に、広く一般のための施設として、道の駅を設置する。				
		利用者	市民、市民以外	施設管理体制	13名	開館日時間等	9:00~18:00 (毎週水曜日・年末年始・臨時休館を除く)
	事業概要	サービス提供の内容					
指定管理業務		(1)経営管理業務 (2)施設及び設備の維持管理業務 (3)施設利用にあたってのサービス、指導等に関すること。 (4)その他日常業務		(5)施設の維持、管理及び修繕(大規模な修繕は除く)。 (6)備品等の維持、管理及び修理(大規模な購入及び修理は除く)。 (7)その他施設の管理に関すること (8)業務の報告			
自主事業		(1)そば切り発祥の郷づくり事業 (2)うらじろ(オヤマボクチ)を使った特産品開発 (3)市内外の観光イベント出店		(4)そば切り・ほうとう祭りの実施 (5)地元を中心とした農家との連携 (6)飲料等の自動販売機設置			

DO	管理運営コスト推移(千円)		令和3年度 (指定期間1年目)	令和4年度 (指定期間2年目)	令和5年度 (指定期間3年目)	〇〇年度 (指定期間4年目)	〇〇年度 (指定期間5年目)
	予算	指定管理料	2,850	2,700	2,550		
		利用料金収入	127,360	131,420	171,540		
		その他収入	1,885	1,901	1,680		
		管理運営経費	132,095	136,021	175,770		
	決算	指定管理料	2,850	2,700	2,550		
		利用料金収入	128,746	178,768	156,012		
		その他収入	3,304	3,506	2,022		
		管理運営経費	134,383	182,105	158,465		
		収支	517	2,869	2,119		
施設の稼動状況		令和3年度 (指定期間1年目)	令和4年度 (指定期間2年目)	令和5年度 (指定期間3年目)	〇〇年度 (指定期間4年目)	〇〇年度 (指定期間5年目)	
指標	施設利用者数(人)	109,761	149,197	153,666			
	活動結果	令和5年5月にコロナ感染症が5類へ移行し、集客数も昨年を上回る結果となった。年度途中にインボイス制度が導入され、農産物等の扱いが厳密な委託販売の会計処理に移行したこともあり、売店の収入が減少したが、特産品の販売や地域に根ざした活動が身をつなげていることや、物価高騰の中でも計画的な収支等の経営努力により2,119千円の黒字営業となった。					

CHECK	評価観点	評価 (5 4 3 2 1) 高 → 低	評価の説明
	(1)事業の運営	4	・協定書通り適正に管理運営されている。 ・インボイス制度にも柔軟に対応し、地元農家の負担軽減と施設の収益確保にも繋げている。 ・外部委託しているレストランだけでなく、軽食コーナーについても、特産品を使用した商品や料理の品質も高評価であり、売り上げを伸ばしている。 ・従業員への苦情についても迅速に対応し、顧客満足へとつなげている。
	(2)施設の維持管理	4	・日常点検、法定点検等を着実に実施しており、指定管理者として対応すべき部分は積極的に対処している。緊急の対応にも指定管理者として素早く対応し、施設の健全化に努めている。 ・職員の朝礼の実施、定期的なミーティング、他の道の駅の視察などの職員研修も実施している。 ・照明設備などについても、計画的に改修している。
	(3)収入支出	4	インボイス制度の導入による会計処理の変更等により、収入については前年比24,390千円減少した一方で、物価高騰や最低賃金の上昇などもある中経営努力により支出額は前年比23,640千円削減し、令和5年度も収入が収支を上回り、黒字経営となっている。
	(4)総合評価		総合評価の説明(施設所管課による一次評価)
	優良 良好 妥当 要改善 不適	良好	特産品の開発や従業員の教育等の経営努力が実を結んでいる。また施設の点検や改修も計画的に行うことが出来ているなど、適正な運用が出来ている。

ACTION	評価結果に対する施設所管課の対応	
	当面の課題	・施設も県内で2番目に古い道の駅となるため、老朽化が進んでいる。施設及び設備の更新と修繕が増えることが予想される。 ・大和地域で唯一のコンビニエンスストアが令和6年1月に閉店するなど、地域住民の道の駅へのニーズは一層高まっている。観光客だけでなく地元住民のニーズにも応えていけるよう、地元特産品や加工食品による売店商品の充実や軽食コーナーなど地域の利用者にも愛される施設環境に努めていく必要がある。
	課題解決への対応	・日常点検、法定点検等を着実に実施し早期に対応する事により修繕費用を抑えるよう努める。また、指定管理者と協議しつつ、必要な更新及び修繕を行う。 ・地域住民などの意見も取り入れた中で必要なサービスを提供できるよう努める。

二次評価(公共施設活用等検討委員会での総括意見)

- ・仕様書及び協定書のとおり適切に管理運営されている。引き続き、適切な管理運営を行っていただきたい。
- ・物価高騰や最低賃金の上昇などもある中で、経営努力により収益を確保しているところはとても評価できる。引き続き、適正な収支管理をしていただきたい。
- ・地元の農産物や加工品の販売、イベントへの出店、SNSを活用したPRを行うなど、集客に繋がる取り組みを行っており、利用者数を増加させることができている。
- ・そばやうらじろなどの特産品を活用した取り組みにも努力していただけており、地域産業の振興と住民福祉の向上に大きく貢献している。